

条件反射制御法学会オンライン研修会 シリーズ 1 講義 1

行動原理と反復行動の成立 重要図

進化

生きる理に合致した行動：防御、摂食、生殖

適応：それらの行動能力の向上

遺伝：それらの行動能力の保持

1. どの特性で生き延び(適応し)たか？

①それらに成功した行動の再現性強い

②それらに成功した行動の再現性弱い

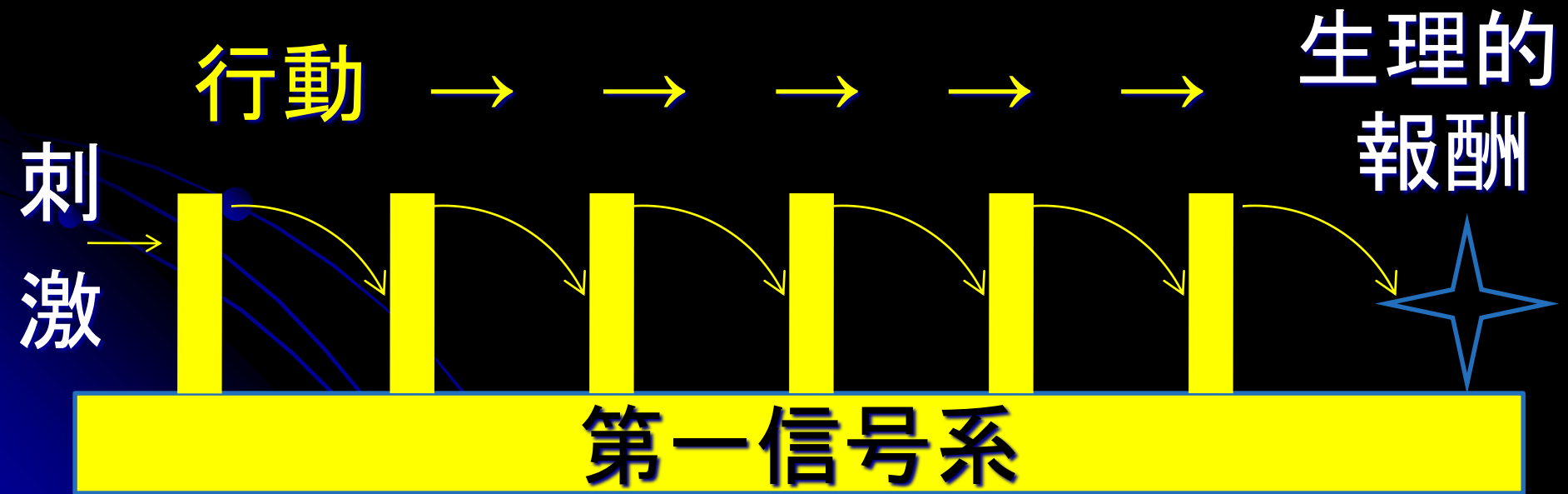
③それらに失敗した行動の再現性強い

④それらに失敗した行動の再現性弱い

2. 遺伝：それらの行動の世代を超えての保持

行動して**成功**すれば再現性**上昇**

行動して**失敗**すれば再現性**低下**



第一信号系

動物もヒトも持つ

反射の連続が

行動を司る

刺激と行動は1:1

過去の生理的

成功行動を再現

防御、摂食、生殖を
行い、進化を支える

第二信号系

ヒトだけが持つ

評価、計画、予測、

決断し動作を司る

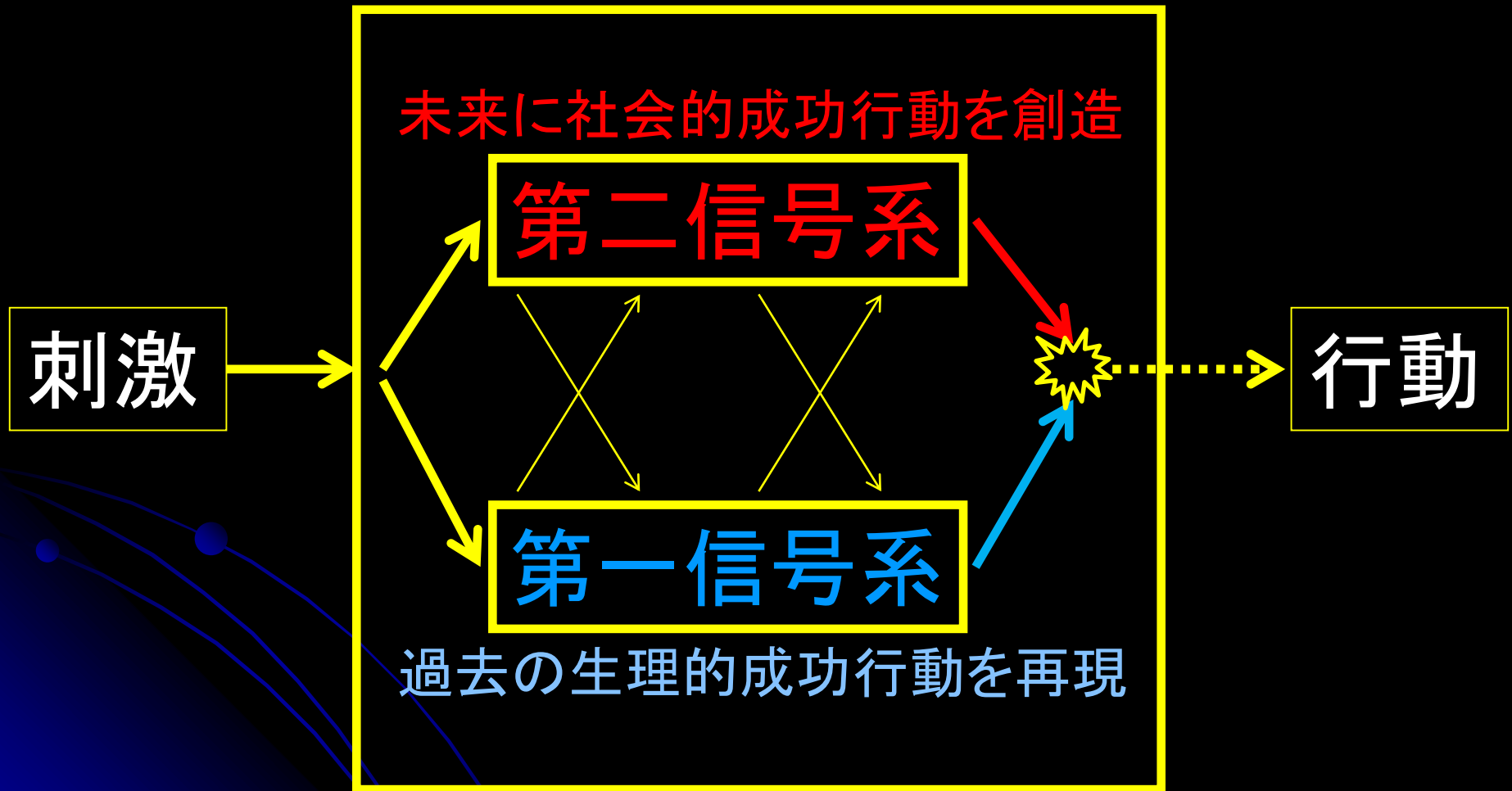
刺激と行動は1:多

未来に社会的

成功行動を創造

個人を中心に考え
、文化を支える

ヒトが行動する時点での二つの中枢



二つの中枢の摩擦

第二信号系反射網(思考)

第一信号系の反射連鎖

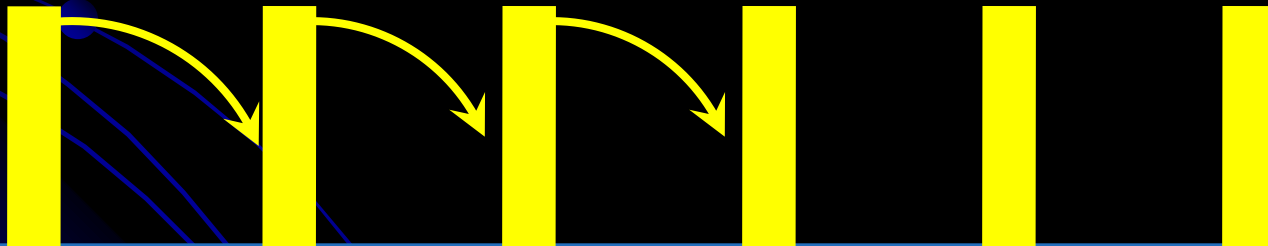
行動



生理的
報酬



刺激



第一信号系